

12人の議員が市政を問う 一般質問

- 1 市原 正 「長期休校の教育現場への対応は」 …P11
- 2 甲斐純一郎 「令和2年8月のJR豊肥本線運行再開について問う」 …P12
- 3 河崎 徳雄 「農業者年金加入促進対策、及び畜産クラスター事業の裁判の状況は」 …P12
- 4 大倉 幸也 「緊急事態宣言時における市長の行動は」 …P13
- 5 佐藤 和宏 「消費税率引き上げ後の市の現状は」 …P13
- 6 田中 弘子 「これからの阿蘇市の農業に更なる女性の活躍を」 …P14
- 7 佐藤 菊男 「遊休市有地等の有効活用を」 …P14
- 8 園田 浩文 「災害時の避難体制と分散避難への行政指導は」 …P15
- 9 森元 秀一 「オンライン授業の推進について」 …P15
- 10 菅 敏徳 「新型コロナウイルス感染症対策は」 …P16
- 11 竹原 祐一 「誰ひとり取り残さない『新型コロナウイルス感染』対策を!」 …P16
- 12 児玉 正孝 「ふるさと応援寄附金の有効利用は」 …P17

長期休校の教育現場への対応は



市原 正

市原 新型コロナウイルスへの感染予防のため小・中学校が長期休校したが、今後の授業日数確保は。また、タブレットを早急に児童生徒に1人1台ずつ整備する計画はあるのか。

藤井教育課長 休校により大幅に減少した授業日数を補うため、夏休みを17日、冬休みを3日短縮し、併せて土曜授業を8日実施する計画です。タブレットについては、文科省が推奨するGIGAスクール構想に則り、今年度中に議会へ予算を上程し、積極的に進めたいと思います。

陽性患者受け入れの医療センターの経営状況は

市原 阿蘇保健所管内で発生した新型コロナウイルス感染症の方を、県指定の感染症指定医療機関の阿蘇医療センターで受け入れたが、全国的に陽性患者を受け入れた病院は赤字に陥っていると聞く。院内感染を恐れた一般患者さんの減少などによる収益マイナス分の補填は。

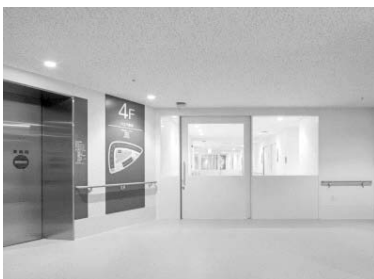
井野阿蘇医療センター事務部長 国の新型コロナウイルス感染症緊急包

括支援交付金、令和元年分2,098万2千円を受領し、4月からの令和2年度分も申請中です。

市原 交付金でマイナスになった部分をきちんと補えるのか。阿蘇市外の陽性患者を受け入れて、赤字の補填は阿蘇市の一般会計から行うことがないように求めておく。

医療センター事務部長 先ほどの補助金を受領しても、通常の入院収益と比較すれば十分ではございません。指定医療機関として、今後の感染動向に対応しなければなりません。単年度赤字が続いていますので、県に補助金の上乗せなどの支援を要望しています。

他に「阿蘇東部地域モデル団地事業の移転について」の質問がありました。
GIGAスクール構想とは
児童生徒に1人1台の学習用端末と、高速大容量通信環境を整備する計画



4階病棟にある
感染症病床（4床）

令和2年8月のJR豊肥本線運行再開について問う



甲斐 純一郎

甲斐 JR豊肥本線・国道57号線北側ルート・57号線現道開通により、観光客を迎えるための受け入れ準備やPRについては。

佐藤市長 8月8日豊肥本線が開通することは、地域住民や隣接する大分県にとりましても大変な喜びであり、一つの大きな復興の証でもあります。今後、阿蘇市の地域振興の活性化につなげたいと考えます。

加藤政策防災課長 待望の主要交通インフラの開通であり、各種団体と連携し、阿蘇リバイバルキャンペーン実行委員会を立ち上げ、阿蘇の観光経済をV字回復し、阿蘇の魅力のアピールしたいと考えます。

秦観光課長 阿蘇駅では、阿蘇市主催の歓迎式を計画、新型コロナウイルス感染症防止に配慮をしながら、市内8つの駅でも地域のご協力を頂き、歓迎の雰囲気を作りたいと思います。

甲斐 赤水駅にはトイレが整備されないという。通学通勤者にとって大変重要なことであり、観光客を迎えるためにもトイレの設置を願う。

政策防災課長 JRと協議し、市

として前向きに検討します。

甲斐 宮地駅についても、レンタサイクルを使い、時間を有効配分（ゆつくり観光・食事・買物）し、阿蘇を満喫する発想にならないか。

観光課長 宮地駅については、可能性調査や環境づくりも視野に入れ、まちづくり課と協議していきます。

甲斐 阿蘇神社周辺整備事業の進捗状況と、竣工後のJRとの連携と活性化に期待するが。

荒木まちづく課長 関係機関と協議しながら順調に進捗し、受け入れも観光課と連携して万全の体制で進めていきます。

阿蘇警察署移転に伴う一の宮地区交番等の設置についての見直しは

甲斐 現時点で交番設置が無理ならば、治安上、駐在所等の警察施設設置を希望するが。

政策防災課長 今後、関係団体や住民のご意見を拝聴し、協議を進めます。



阿蘇カドリードミノオン内に新たに設置された観光案内所「よってこ」

農業者年金加入促進対策、及び畜産クラスター事業の裁判の状況は



河崎 徳雄

河崎 6月議会で農業委員の同意がなされ新しい委員さんが7月に誕生する。農業委員の役割、使命は農地の幹旋等々、また、老後の生活を守る農業者年金の加入促進も重要な役割です。市内の農業者年金受給者数と、60才未満の加入者数は。

渡邊農業委員会事務局長 阿蘇市内の受給者は約600名で、60才未満の加入者は約47名です。年間5名程度農業者年金に加入されています。

河崎 認定農業者を含め60才未満の農業者は200名位で、まだ多くの人が未加入である。農業者年金加入促進を。

農業委員会事務局 農業委員会加入推進部長を選出し農業委員会、JA等関係機関と連携し、年金制度の周知啓発をし、引き続き加入促進を図っています。

河崎 畜産クラスター事業で一農業者から民事訴訟されているが、訴訟時期、要求内容、及び裁判の状況は。

佐伯農政課長 平成30年5月2日付けで訴訟が提起され、約7,300万円の損害賠償要求です。現在原告との準備書面による弁論準備のやり

取りが10回程度行われている状況です。**河崎** 原告被告の準備書面の内容は、**農政課長** 原告の主張内容や関係者の個人情報等もあり、内容は控えます。

河崎 法律事務所で、議会では準備書面の内容を聞く事が出来ると思います。後日、行政文書開示請求を出します。どこまで公開できるか。**農政課長** 顧問弁護士と相談します。

農業者年金の受給額（年額）の試算

| 加入年齢 | 納付期間 | 保険料納付総額 | 年金額(年額) | | 想定される受給総額 | |
|------|------|---------|---------|------|-----------|---------|
| | | | 男性 | 女性 | 男性 | 女性 |
| 20歳 | 40年 | 960万円 | 77万円 | 65万円 | 1,645万円 | 1,742万円 |
| 30歳 | 30年 | 720万円 | 51万円 | 43万円 | 1,092万円 | 1,156万円 |
| 40歳 | 20年 | 480万円 | 30万円 | 25万円 | 646万円 | 684万円 |
| 50歳 | 10年 | 240万円 | 13万円 | 11万円 | 288万円 | 305万円 |

※通常加入で保険料月額2万円で加入し、65歳までの運用利回りが2.5%、65歳以降の予定利率が0.35%となった場合の試算。

※受給総額は65歳での平均余命を考慮し、男性86.5歳、女性92歳まで生存した場合の金額。

緊急事態宣言時における市長の行動は



大倉 幸也

大倉 新聞の市長の動向の欄に毎月「家畜市場生産者激励」との予定が掲載してある。

日ごろから思っていたことであるがなぜ市長は家畜市場生産者激励ばかりに行かれるのか。花卉市場や野菜市場もある、他の農業者、商工業者もおられる、そういう人たちには激励はないのかという疑問がある。

そんな中、今回の新型コロナウイルス感染拡大によって、全国に緊急事態宣言が発令されて市民の不要不急の外出自粛が要請されているさなかに家畜市場で生産者を激励されている。どういった考えでの行動か。また、その効果があるのか。

佐藤市長 畜産業は阿蘇市の主たる産業であります。今回正月明け1、2月から取引が鈍ってきたということ、また、その後の新型コロナウイルス感染症の感染拡大により人の交流も制限され、価格も暴落するということもありました。

畜産なくして阿蘇というものは成り立たないと思っています。不要不急と言われるが私は決してそうではないと思います。

トマト、アスパラガス、イチゴなどの野菜市場には確かに行っていないが、選果場や反省会にお邪魔したり、出張にあわせて花卉市場に行ったり、過去においてやってきました。これからもしっかりと現場に出向きながら取り組んでいきたいと思っています。

そういう質問が出てくることは非常に残念に思いますし、効果があるのかないとかの問題ではないと思います。

大倉 新聞記事を見て市民はそう思っているということでの質問である。家畜市場激励は不要であると思ったのではないか。

大倉 私は不要だとは言っていない。色んな業種の方に平等に激励をして頂きたいから質問をしたわけです。他に「事業継続支援金について」、「テレワークセンターの事業について」等の質問がありました。



熊本県家畜市場

消費税率引き上げ後の市の現状は



佐藤 和宏

佐藤 消費税率引き上げ後の負担を軽減する目的でスタートしたキャッシュレス還元事業は、市民に浸透しているか。

荒木まちづくり課長 市内の登録店舗数は6月現在293件です。キャッシュレス化は進んでいくと思いますが、利用する側も現金で支払われる方がまだ多いことや、登録店も手数料の負担があり、全店舗で使用できるにはまだまだ時間がかかると思います。今年6月でポイント還元が終了するにあたり、国は消費活性化対策としてマイナンバーカードを活用した「マイナポイント」制度を9月から実施します。上限5千円分のポイントを受けることができるこの制度を、マイナンバーカードの申請促進と、キャッシュレス決済等の利用活性化を目指し、発信していきたいと思っています。

小中学校生の今後の新型コロナウイルス感染症対策は

佐藤 過去に例のない約3箇月の

休校要請後6月から学校再開となったが、今後の感染防止対策及び感染拡大時の対応は。

藤井教育課長 学校再開では、国が示す衛生管理マニュアルに沿って対応しています。また、スクールバスの増便、学習支援員を増員し、分散教室で3密を避ける授業に取り組んでいます。夏休み、冬休みは短縮となりますが、インターネットを使った家庭学習も取り入れ、感染状況も見ながら授業日数を確保していきたいと思っています。

阿南教育長 子供達にも休校中出来なかったことを振り返り、今自分がやるべきことが何かを考え行動できる主体的な子供を育てていく教育をしながら、3月までに学力を取り返すようにしていきたいと思っています。

マイナンバーカードで
マイナポイント
お好きなキャッシュレス決済で
使えるポイントが
上限 **5,000**円分
付与率 **25%**
もらえちゃう!

これからの阿蘇市の農業に更なる女性の活躍を



田中 弘子

田中 3年前の改選で3名の女性農業委員が任命され、今期任期を終えるが現在の状況は。

渡邊農業委員会事務局長 平成29

年7月の改選で3名の委員が任命され、毎月開催される委員会総会、また、年2回の農地パトロール、県下農業委員の研修会などに参加されています。昨年県下で発足した「くまもと農業委員女性の会」や九州・沖縄ブロックの女性研修会にも意欲的に参加されています。

田中 農業専従者は高齢化が進んでおり、女性の立場が重要視されていると思うが、現状は。

農業委員会事務局長 担い手も高齢化し、若手の方が少ないのが現状です。以前は男性社会という部分が大きかったのですが、今後は女性の方も農業のみならず社会に進出されることを望みます。

田中 最近トラクターの事故が増えていますが、女性農業者への講習を行っているかどうか。

佐伯農政課長 年間の農作業中の死亡事故は、全国で約300件を超えるほど発生しており、交通事故の

死亡事故に例えると約5倍近い割合です。機械も大型化され、また、整備不良であったり、操作ミスなどによる事故が多発しています。

現在一般農業者向けの大型特殊免許取得を前提とした講習等が、年6回県立農大で行われていますが、実施時期や定員等の制限もあることから、関係機関と連携し、各研修会と併せて女性農業者が受講できる環境の検討を行います。

国道57号現道の開通時期は

田中 現在二重の峠を利用しているが、霧が深い時は怖い思いもしている。いつ頃開通になるか。

吉良土木部長 国道57号現道については国土交通省の発表で本年の10月頃の開通となっており、同時期に開通する国道57号北側復旧ルートに後になりそうです。



知里口香穂里さん 竹原真理子さん 榎木すみ子さん
今回任命された女性農業委員3名

遊休市有地等の有効活用を



佐藤 菊男

佐藤 貸し付けや売却等ができる市の普通財産の種類と面積は。

廣瀬財政課長 宅地5.9ha、山林1,324ha、原野6,105ha、その他雑種地等653haとなっています。

佐藤 主な宅地と建物の所在地は。
財政課長 宅地としては内牧の教育委員会跡地、宮地の九州電力跡地、畜協跡地、九門市営住宅跡地等、建物としては阿蘇いこいの村等があります。

佐藤 未利用の土地や施設、いわゆる遊休地や遊休施設等の今後の有効利用や地域振興につながる利用計画等の有無は。

加藤政策防災課長 普通財産の中では「いこいの村」が現在売却の方向で進めているほかには、具体的に利用計画が決定しているものはありません。

佐藤 普通財産の有効利用等について協議する委員会等の設置は。

政策防災課長 遊休地の所管課長等による、公有地活用に伴う庁内検

討会議を設置し協議しています。

佐藤 利用計画のない遊休未利用の財産は、住民福祉の向上に資する財源確保のため積極的に売却等を推進し、維持管理費の軽減や固定資産税の増収につなげることも必要ではないか。

高木総務部長 維持管理事務及び経費の軽減、固定資産税の増収につながるものは、積極的に賃貸又は売却を推進すべきものと考えています。大規模災害等の有事の際の自衛隊の宿营地、災害廃棄物置き場、仮設住宅用地を確保しておく必要もあります。行政のスリム化のためにも、将来の阿蘇市にとってより良い方向に行くよう利用計画のない財産について全庁的に協議を進めていきたいと思っています。



閉館中の阿蘇いこいの村